

なんだ・かんだ

◆ 言葉が人生を創る ◆

先日、「ツキをよぶ魔法の言葉」という講演筆録で有名な五日市剛さんと言う方の講演を聴く機会がありました。

物事が上手くいかなくても、そのことに腹を立てたりせずに、「ありがとう」と口に出して現実を感謝して受け入れなさい。上手くいったときは「感謝します」と口に出して心から感謝の気持ちを抱きなさい。そうしたプラス思考の言葉が、上手くいかない事柄の連鎖を断ち切り、上手くいくことの流れを呼び込みます。言葉は私たちの人生を創っていきます。

想う・言葉にする・行動するが同じレベルに高位に達すると想いは現実になるのです。

何人かの方には同じ話をしていますが、一昨年、私の子供が受験をしました。息子には毎日、志望校の校門をくぐって登校する自分をイメージする様に言っていました。試験は思ったほど出来ず、息子も母親も落胆した様子でした。しかし、私一人絶対受かると確信し、「大丈夫だよ、受かるよ。」と話していました。これは口先だけの言葉ではなく本当に落ちることなど絶対にあり得ないと思っていました。

翌日私一人で発表会場には向かう車中、「合格・合格」と念仏のように唱えながら、頭の中では、貼り出された受験番号の中に息子の番号があるのがはっきりとイメージでき、ましてや昨日同様不合格になるなど想像できなかったのです。校門に入ると、正面の掲示板に合格者の受験番号が貼られていました。私はその掲示板の何メートルも手前から、見えるはずもない息子の番号をはっきりと見る事が出来ました。あとで、息子ともう一度発表を見に行ったときに、最初番号を確認できた所からは、全く掲示板の数字を確認することは出来ませんでした。

本当に不思議な出来事でした。

経営書の多くに、会社経営では目標の明確化と行動が重要であると唱われています。何をやりたいのかを強く想い、口に出して思いを述べることにより従業員と想いを共有し、世間に公表し実行する。そして想いは叶うという事です。人生設計においても同様です。「契通信 VOL1」に夢を叶える手帳という記事を書きましたが、これも同じ事を言っています。想いを具体的に手帳に書き日々これを見て夢が叶った自分をイメージしそして行動する。

もう一つ重要なことは、日々の出来事は全て自分の仕業。良いことも悪いことも感謝して受け止め、常に「素直な心」で受け入れなければなりません。うー、難しい・・・!



早くも師走

晩秋の候、朝夕の冷気に冬の訪れを感じる今日この頃、皆様におかれましては、ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、十一月半ばに三日間税務調査がありました。もちろん私が社長になってはじめてです。十年近く前に消費税でありましたが、法人税では二十年近く調査が無く、久しぶりの税務調査でありました。

幸いいくつかの細かい点について指摘は受けたものの、「適切に処理されていると思います。今後も継続していただく」とお褒めの言葉を頂きました。結果的に弊社の財務処理と業務処理のシステムの健全性を固費で無料調査していただいた形となり、胸をなで下ろすと共に、指摘された事項が日頃課題としていた点であったことで、更なる業務処理の適正化を心に誓いました。

寒さが増してきました。皆様におかれましてはお体を「自愛いただき、風邪など引かぬように師走に向かいお仕事にお励み下さい。

代表取締役 服部 徹一郎

社員紹介

四人目の女性は、原田です。営業グループの補佐をしています。担当するお客様の件数はダントツに多いので、何人かの方は電話でおはなしされている事と思います。

背がずらっと高く、スタイル抜群。趣味はドライブのようで、結構「走り屋」って感じかな。ではそんな彼女から一言

いつもお世話になっております。営業部所属の原田と申します。入社してから約8年たちますがまだまだ未熟者です(^_^;)

商品の名前、発注先、在庫品が会社のどこにあるのかなどは何か覚えられますが、肝心の商品の使用方法、用途など覚えるのが苦手で最終的には営業マンにバトンタッチしてしまいます(><) それではまずいと日々努力しているところではありますが・・・そんな私ですが、これからもどうぞ宜しくお願いします!

お得意先の皆さん、担当の営業がいなくとも大抵のことは営業補佐の女性が処理出来ます。また、難しい問題でもなるべく自分で処理するようにしております。是非「女の子じゃ分からない。」なんて考えずに、何なりとお申し付けください。失敗することもあるかも知れませんが、それが当社の女性の成長の糧となるのです。是非ご協力の程お願い申し上げます。



■ 展示会来場のお礼 ■

去る、11月13日(月)・14日(火)に東京ビックサイト西展示棟1・2ホールで開催された、「第20回東京ビジネスサミット2006」に多くの方のご来場を賜り、厚く御礼申し上げます。毎回遮熱塗装で出展するのですが、回を重ねる毎に各企業様の環境への取組が段々と熱を帯びていくのを感じます。

今後とも、弊社はこの遮熱塗装を通じ、我々の子孫のために素晴らしい環境の地球を残すことが出来るよう頑張っていきたいと思っております。

本レターのご提供につきまして、ご不要・ご迷惑という方に付しましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail chi@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/